

会告

- 「溶接高温割れ発生予測評価指標の導出に向けた問題抽出とその評価方法の統一化」ミニ研究会 会員募集
- 「実構造物への展開を目指した溶接変形予測技術の活用」アドホック研究会 会員募集
- 溶接学会誌、全国大会講演概要集 J-STAGE 電子版の一般公開制限について
- 学生員への学会誌送付の廃止→電子版閲覧への移行について
- 会員専用ページ「マイページ」の開設について
- 溶接学会主催行事予定について
- 平成 30 年度春季全国大会講演申込 受付方法について
- 平成 30 年度春季全国大会「研究発表」講演募集
- 溶接学会全国大会講演分類
- 全国大会講演概要原稿執筆要領
- Guide to Preparation of manuscript for the National Meeting
- 全国大会講演プログラム校正について
- 平成 30 年度春季全国大会オーガナイズドセッションの募集
- WEB 掲載の溶接学会論文集 35 巻（平成 29 年度）の印刷物の購入について
- 平成 29 年度秋季全国大会講演概要の頒布について
- Express 論文投稿の受付開始について
- Welding Letters の創刊について
- 国際溶接学会（IIW）グランジョン賞の募集について
- 大阪大学 接合科学研究所 教員公募

「溶接高温割れ発生予測評価指標の導出に向けた問題抽出とその評価方法の統一化」ミニ研究会 会員募集

1. 趣 旨

溶接時の高温割れ発生は、機械構造物の製造において大きな問題となることがしばしばあり、割れ発生時の温度やひずみなど普遍的な物理量を用いた設計段階からの予測・発生防止が極めて重要となっています。

溶接高温割れ感受性は、これまでに多くの試験によって評価されており、なかでもバレストレイン試験は、これまでに最も広く用いられてきました。しかし、本試験の方法や評価法は、AWS B4.0にて試験法が規定されているものの、ロンジ試験のみの規定であり、一方でJISでは規格化されていないために、詳細な実験方法や割れの測定方法は研究者に強く依存しています。そのため、従来の知見や他の研究者との結果を比較検討するには、測定方法の詳細まで遡って検討する必要があり、複数の研究報告を直接比較するには困難を極め、同一の研究者・グループによる材料種（化学組成）や溶接条件についての単なる比較評価に留まることが多いのが現状です。加えて、近年では異材溶接やレーザ溶接の適用等、材料や溶接方法の多様化が進められているため、統一的な試験・評価方法の確立や普遍的な指標を基にした溶接高温割れ感受性評価は極めて重要となっています。本研究会では、従来より高温割れ感受性評価に広く用いられてきたバレストレイン試験に焦点を当て、本試験の統一的な実施方法ならびに評価法を構築するとともに、割れ発生予測に有益に供することが可能な指標の抽出とその導出方法を検討することを目的とします。

2. 内 容

本研究会では、同一の試験片、条件によりバレストレイン試験を複数の試験機により実施し、各自のバレストレイン実験で得られた結果を基に、研究者間で生ずる実験・測定方法の違いや試験機が得られた結果・割れ発生現象に及ぼす影響を調査します。加えて、FEM等を用いて曲げひずみ負荷時のひずみ分布等の力学的な挙動を調査します。一方でAWS B4.0規格をはじめとしたこ

れまでに実施された試験法の調査を行います。得られた実験ならびに解析計算により得られた結果や文献調査結果をもとに、統一的な試験法、評価法の確立、得られた指標の妥当性の解明を目指します。また、これらを通して、割れ発生予測に有益に供することが可能な新たな指標の導出に向けた問題抽出や今後の課題提起を目指します。

3. 研究期間：2017年9月～2018年8月

4. 組 織

主 査：門井浩太（大阪大学 接合科学研究所）
副主査：岡野成威（大阪大学 大学院工学研究科）
委 員：阿部大輔（IHI）、佐々正登（日本冶金工業）、
山下正太郎（大阪大学大学院）

5. 参加資格

溶接高温割れ現象やその感受性評価について関心があり、バレストレイン試験をはじめとした高温割れに関する研究の経験を有する方。溶接中や高速・高温での変形などの力学的現象の研究経験を有する方。また、情報交換に積極的に参加でき、当該分野における新規テーマ開拓に強い意欲のある方。ミニ研究会の規定に従い、原則として40歳未満の若手研究者、技術者（産官学）を対象とします。溶接学会会員、賛助員企業の参加はもとより、他学会に所属する研究者、技術者の参加も歓迎します。

6. 問合せ・連絡先

氏名、所属、部署、職名、連絡先（住所、電話番号、メールアドレス）、専門分野を記載し、下記までEメールにてご連絡ください。

門井浩太（大阪大学 接合科学研究所 准教授）、
E-mail: kadoi@jwri.osaka-u.ac.jp

「実構造物への展開を目指した溶接変形予測技術の活用」アドホック研究会 会員募集

1. 趣 旨

モノづくりにおいては溶接を用いて構造物が組立てられることが多く、性能面、強度面から、溶接構造物の変形・応力予測が重要であることは御存知の通りです。また、これを実現するシミュレーション技術は、近年における計算環境の充実と共に、実用可能なレベルにあると言えます。しかし、溶接シミュレーション技術を社内に導入する際には、シミュレーション手法特有のノウハウが障害となり、十分には活用されていないのが現状です。この点において欧米・アジア諸国に遅れをとる可能性があります。

これを防ぐためには、産学が一体となった「シミュレーション利用技術の普及促進」が急務と考えます。そこで、本ワーキングでは、溶接力学シミュレーションにターゲットを絞り、近年開発が進められている新しいシミュレーション技術を実際に使用し、各種産業分野が抱える実務課題に適用することで問題解決の方法としてのシミュレーション技術の修得を図り、また、それらの基礎理論について理解することを目的とします。なお、本研究会は溶接構造研究委員会に設置された溶接力学シミュレーション研究会が取り組む課題のひとつとして実施されるものです。

2. 内 容

平成27年度、平成28年度のアドホック研究会「実構造物への展開を目指した溶接変形予測技術の検証」では、多層溶接継手の溶接実験および各種溶接力学シミュレーションソフトを使用して得た計算結果を比較することで、各種溶接力学シミュレーションソフトが有用なツールになり得ることを確認した。(フェーズⅠ) その結果を踏まえ本アドホック研究会では、溶接変形に及ぼす影響因子について詳細に検討を行うと共に、実構造物への展開に向けた溶接力学シミュレーションソフトの活用方法について検討を行う予定である。(フェーズⅡ) 結果がまとまり次第、溶接学会全国大会においてオーガナイズド・セッションを開催し、成果報告を行う予定である。

3. 研究期間

平成29年度、平成30年度(平成29年9月～平成31年8月)

4. 組 織

主査：柴原正和(大阪府大)

顧問：村川英一(阪大接合研)

幹事：麻 寧緒(阪大接合研)、芹澤 久(阪大接合研)、

中谷光良(日立造船)、中谷祐二郎(東芝)、

猪瀬幸太郎(IHI)、鷹羽新二(橋梁調査会)、

永木勇人(高田機工)

委員：堤 成一郎(阪大接合研)、山田順也(日立造船)、

只野智史(東芝)、上谷佳祐(三菱重工業)、

小川正裕(新日鐵住金)、柳田信義(日立製作所)、

成田 忍(simufact engineering)、安藤知明(ASTOM)、

法川剛二郎(ASTOM)、村山雅智(JFEエンジ)、

上月渉平(JFE スチール)

5. 参加資格

・溶接学会員である方が望ましい。

・溶接変形の実験・シミュレーションに積極的に参加頂ける方。

6. 申込方法

氏名・所属・部署・職名・連絡先(住所・TEL・FAX・E-mail)

・専門分野を記載し、電子メールにて下記までご連絡ください。

主査：柴原正和(大阪府立大学大学院工学研究科、准教授)

E-mail: shibahara@marine.osakafu-u.ac.jp

溶接学会誌、全国大会講演概要集J-STAGE電子版の一般公開制限について

学会会員特典をより明確にするために、J-STAGE 電子版の一般公開制限について、溶接学会誌はこれまでの発刊後3年から5年に、全国大会講演概要集はこれまでの全国大会終了後2ヶ月から5年に延長することになりました。その期間は、会員閲覧認証登録された個人会員への限定公開となります。その期間の溶接学会誌、全国大会講演概要集J-STAGE 電子版を閲覧いただくには、「会

員閲覧認証登録」が必要です。

つきましては、必ず「マイページログイン」(溶接学会 HP 右上)から「会員閲覧認証登録」を申請して下さい。(通常、申請された翌月中旬から閲覧が可能となります。事務局からメールでお知らせいたします。)

学生員への学会誌送付の廃止→電子版閲覧への移行について

溶接学会では、ご承知のとおりJ-STAGEによる学会誌、論文集、全国大会概要集の電子版による公開閲覧を鋭意進めて参りました。

この度、平成29年4月から学生員については、学会誌の冊子送付を廃止し、J-STAGE 電子版を閲覧いただくことになりました。

(平成28年12月19日理事会決議)

溶接学会誌のJ-STAGE 電子版は、会員特典を考慮し、発刊後5年以内は会員限定閲覧で、5年より以前のは一般公開となります。

したがって、学会誌のJ-STAGE 電子版を閲覧いただくには、「会員閲覧認証登録」が必要です。

つきましては、必ず「マイページログイン」(溶接学会 HP 右上)から「会員閲覧認証登録」を申請して下さい。

なお、学会誌掲載の会報・会告につきましては、溶接学会 HP にて、閲覧できるようにいたします。

● 会員専用ページ「マイページ」の開設について

溶接学会の個人会員各位には、平成27年7月初旬に「会員専用ページに関する重要なお願い」を郵送させていただいています。必ずご一読ください。

このたび溶接学会では会員サービスの一環として、個人会員各位を対象とした会員専用ページ「マイページ」を新たに開設いたしました。

マイページでは、ご自身の会員情報を管理していただけるとともに、各種サービスのご利用が可能となります。

まずは、郵送のマニュアル「初回ログイン時にしていただくこと」をご参考に、マイページにアクセスしていただき、下記の操作（約5～10分）をお願いいたします。

- ①ログイン → ②会員情報確認・変更 → ③パスワード変更 → ④マイページ内の完了ボタン（会員情報等変更の有無にかかわらず必ず押してください）

必ず押してください）

なお、マイページのURLは、member.jweld.jp/mypage ですが、溶接学会HPからもログインできます。

会員番号とパスワードは、大切にお控えください。
また、E-mailアドレスは、重要な連絡やID等として必須となりますので、会員ご本人が常時ご使用のPC用E-mailアドレスを必ずマイページにご登録ください。
（マイページに登録されたE-mailアドレスが正しいかご確認ください）

ご協力の程よろしくお願い申し上げます。

● 溶接学会主催行事予定について

溶接学会本部、支部を含め、全国大会、シンポジウム、研究発表会、講演会、講習会、研修会、見学会など溶接学会主催の公開行事の予定を溶接学会ホームページに掲載していますので、ご参照ください。

溶接学会HP「イベント情報」→「溶接学会主催行事予定」をクリックして下さい。

URLは、<http://www.jweld.jp/event/pdf/event-main-calendar.pdf>

● 平成30年度春季全国大会講演申込 受付方法について

平成30年度春季全国大会での講演を申込される方は、下記の点にご留意の上、お申込み下さいますようよろしくお願い申し上げます。

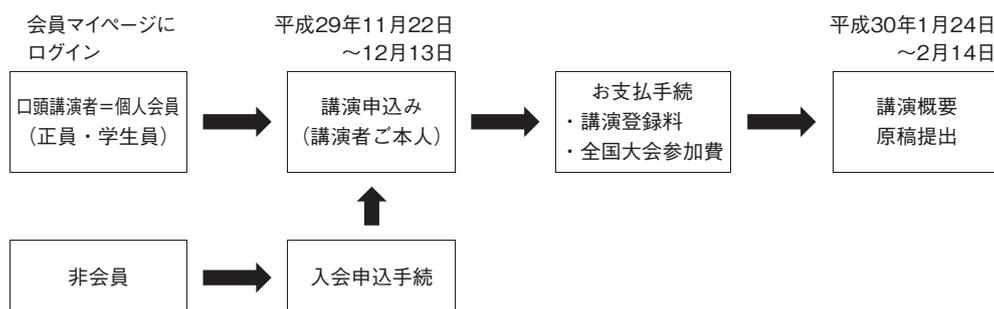
平成30年度春季全国大会

- 開催期日：平成30年4月24日(火)～26日(木)
- 開催場所：東京ビッグサイト（東京都江東区）
- 講演申込期間：平成29年11月22日(水) 12:00～平成29年12月13日(水) 14:00
- 原稿(PDF)提出期間：平成30年1月24日(水) 12:00～平成30年2月14日(水) 14:00

《主なご留意点》

- ・「会員マイページ」を経由して講演をお申込みください。
講演申込みは講演者ご本人がエントリーしてください。代理者によるお申込みや講演者の変更は出来ません。
※講演者が非会員の場合
→ 会員手続き完了後にエントリーしてください。
※年会費の未納がある場合
→ 「会員マイページ」で年会費のお支払い手続きを済ませてからエントリーしてください。
- ・講演登録料(8,000円)+参加費(正員10,000円, 学生員5,000円)を期日までにお支払いください。
期日までにお支払いを完了していただくことで講演概要原稿の提出が出来ます。
なお、支払い期日が過ぎた場合はエントリーをお断りする場合がございます。
- ・講演登録料、参加費のお支払いは、クレジットカード・コンビニ決済になります。
なお、ご入金後の返金はいたしません。

《講演申込から原稿提出までの流れ》



平成30年度春季全国大会「研究発表」講演募集

平成30年度春季全国大会を下記のとおり開催いたしますので、この大会で「研究発表」講演をご希望の方は申込要領に従ってお申込ください。

申込及び原稿提出は、インターネット利用のみとなります。

研究発表に関する募集要項、講演分類、原稿執筆要領（和文、英文）、講演プログラム校正等講演及び大会に関する情報については、本誌会告及び本会ホームページに掲載いたしますので、ご確認ください。

また、原稿締切から概要発行までぎりぎりの時間しかありませんので、期限切れ及び不備な原稿は不本意ながら講演をお断りすることになりますのであらかじめご了承ください。



開催期日：平成30年4月24日(火)、25日(水)、26日(木)

開催場所：東京ビッグサイト（東京都江東区）

—講演申込募集—

1. 申込期間：平成29年11月22日(水)12:00～
平成29年12月13日(水)14:00
2. 講演資格：講演者は正員（学生員も認める）でなければなりません。共著者はその限りではありません。
3. 申込方法：学会ホームページへアクセスして「会員マイページ」を経由して講演申込みをしてください。また、下記講演登録料、大会参加費をご納入ください。なお、年会費の未納がある場合は、「会員マイページ」で年会費のお支払い手続きを済ませてからエントリーしてください。同一大会での連続報告は2報までですのでご注意ください。

◎講演登録料：1件について8,000円をご納入ください。登録料は講演申込が取り消されても返却いたしませんのでご了承ください。

(円)

会 員 区 分		講演登録料	大会参加費 (講演概要の閲覧・取得を含む)
個人会員	正 員	8,000円(税込)	10,000円(不課税)
	学生員		5,000円(不課税)
賛 助 員		発表不可	10,000円(不課税)
非 会 員	学生以外	発表不可	20,000円(税 込)
	学 生		10,000円(税 込)

4. 原稿（PDF）提出期間：

平成30年1月24日(水)12:00～平成30年2月14日(水)14:00

5. 講演概要原稿：本会「全国大会講演概要原稿執筆要領」に従って作成してください。

6. 発表時間：講演10分、討論5分

7. 講演申込の確認：申込を受付けますとただちに受付番号を送信いたします。

8. 講演申込の取り消しについて

講演申込締切り後ただちにプログラム編成を行います。プログラム編成後の取り消しは他の講演申込者に多大の迷惑を及ぼしますのでくれぐれも慎んで下さい。

(注意事項)

①講演概要のデジタル化に伴い全ての一般講演は、大会1ヶ月前にWEB公開されます。また、大会終了の2ヶ月後にJ-Stageで公開されます。講演概要への非掲載やJ-Stageでの非公開を希望する講演はいっさい受付いたしません。

②上記申込受付及び原稿提出期間を過ぎますと受付システムの利用は不可能となります。時間に余裕を持ってご利用ください。なお、詳細な情報は学会HPにて確認してください。

③原稿のファイル形式は、PDF形式のみ受付ます。PDFのファイルサイズの上限は、3MBです。

PDF原稿を作成する際は、PDFをプリントアウトする等、文字、写真等の品質をあらかじめ確認して下さい。

また、原稿提出期間後の原稿差し換えはいっさい受付いたしませんので、提出前にあらかじめ確認してください。


溶接学会全国大会講演分類

- ・ 講演エントリ時に、下記の4分類から1つずつご選択ください。
 ・ 適当な分類がない場合は、「*0 該当なし」をご選択ください。

第0分類 既成セッション		第1分類 技術分野		第2分類 プロセス		第3分類 対象材料	
0-0	該当なし	1-0	該当なし	2-0	該当なし	3-0	該当なし
0-1	オーガナイズドセッション	1-1	溶接・加工方法および一般的特性	2-1	アーク溶接	3-1	鉄鋼
		1-1-1	溶接・加工方法	2-1-1	ガスシールドアーク溶接	3-1-1	低炭素鋼・低合金鋼
0-2	溶接冶金	1-1-2	溶接・加工条件の影響	2-1-2	被覆アーク溶接	3-1-2	高張力鋼(薄板)
0-3	溶接法	1-1-3	溶接・加工結果の総括(溶込み特性など)	2-1-3	サブマージアーク溶接	3-1-3	高張力鋼(厚板)
0-4	継手強度	1-1-4	その他溶接・加工の諸特性	2-1-4	プラズマ溶接	3-1-4	耐熱鋼・耐食鋼
0-5	溶接残留応力			2-1-5	アーク複合溶接	3-1-5	高炭素鋼・高合金鋼
0-6	溶接変形	1-2	冶金の性質	2-1-6	その他のアーク溶接	3-1-6	ステンレス鋼
0-7	破壊	1-2-1	マイクロ組織			3-1-7	その他の鉄鋼
0-8	疲労	1-2-2	割れ(凝固割れ、低温割れなど)	2-2	抵抗溶接・圧接		
0-9	界面現象	1-2-3	耐食性・耐環境性	2-2-1	スポット溶接	3-2	非鉄金属
0-10	アーク物理	1-2-4	その他冶金の性質	2-2-2	シーム溶接	3-2-1	アルミ・アルミ合金
				2-2-3	摩擦圧接	3-2-2	銅
0-11	アーク溶接	1-3	機械的特性	2-2-4	その他抵抗溶接・圧接	3-2-3	Ti・Ti合金など活性金属
0-12	レーザ溶接	1-3-1	溶接・接合継手の静的強度			3-2-4	Ni・Coおよびその合金
0-13	レーザハイブリッド溶接	1-3-2	溶接・接合継手の疲労強度	2-3	高エネルギービーム溶接	3-2-5	Mg・Mg合金など軽金属
0-14	レーザ切断・加工	1-3-3	溶接・接合部の歪・残留応力	2-3-1	レーザ溶接	3-2-6	その他の非鉄金属
0-15	レーザ表面加工	1-3-4	溶接・接合部の破壊じん性・挙動	2-3-2	レーザ複合溶接		
0-16	抵抗スポット溶接	1-3-5	溶接・接合部のクリープ特性・環境強度	2-3-3	電子ビーム溶接	3-3	非金属
0-17	抵抗溶接	1-3-6	溶接・接合部の寿命・LCC・リサイクル	2-3-4	その他のビーム溶接	3-3-1	樹脂
0-18	ろう接・はんだ	1-3-7	溶接・接合以外加工部の諸特性			3-3-2	セラミック
0-19	摩擦攪拌接合(FSW)			2-4	その他融接	3-3-3	その他の非金属材料
0-20	摩擦攪拌点接合(FSSW)	1-4	計測・センシング	2-4	その他の融接		
0-21	摩擦圧接	1-4-1	溶接・加工中の現象観察			3-4	異材接合
0-22	圧接	1-4-2	溶接・加工中の計測	2-5	ろう接・固相接合	3-4-1	鉄鋼/非鉄金属
0-23	固相接合	1-4-3	溶接・加工部の分析・計測	2-5-1	ろう接	3-4-2	鉄鋼/非鉄金属
0-24	超音波接合	1-4-4	溶接・加工部の非破壊検査	2-5-2	拡散接合	3-4-3	非鉄金属/非鉄金属
0-25	マイクロ接合	1-4-5	インプロセス制御・オンライン品質管理	2-5-3	摩擦攪拌接合(FSW)	3-4-4	その他の異材組合せ
0-26	異材接合			2-5-4	摩擦攪拌点接合(FSSW)		
		1-5	解析・シミュレーション	2-5-5	その他ろう接・固相接合	3-5	特殊材料
0-27	表面改質・クラディング・積層	1-5-1	熱・温度分布の解析			3-5-1	薄膜
0-28	フォーミング	1-5-2	歪・残留応力の解析	2-6	接着・機械接合	3-5-2	粉体
0-29	ピーニング	1-5-3	加工現象のシミュレーション	2-6-1	接着	3-5-3	その他の特殊材料
0-30	応力計測	1-5-4	組織・材質予測	2-6-2	リベット・ピアシングリベット		
0-31	センサ・制御	1-5-5	継手強度・性能予測	2-6-3	かしめ・クリンチング		
				2-6-4	その他接着・機械接合		
		1-6	システム設計・開発				
		1-6-1	加工システム・機器	2-7	その他接合		
		1-6-2	生産システム・工程管理	2-7	その他の接合方法		
		1-6-3	品質保証				
		1-6-4	安全・衛生・教育	2-8	表面加工・積層		
				2-8-1	表面焼入れ・熱処理		
				2-8-2	クラディング・合金化		
				2-8-3	積層造形		
				2-8-4	表面微細加工		
				2-8-5	その他表面加工・積層		
				2-9	切断・除去		
				2-9-1	熱切断		
				2-9-2	割断・溝加工		
				2-9-3	穴あけ		
				2-9-4	アブレーション		
				2-10	その他加工		
				2-10	その他の加工		

全国大会講演概要原稿執筆要領 — PDF原稿のみとなります。 —

概要原稿（テンプレート）が本会ホームページに用意されていますのでご利用ください。

講演概要は、提出された原稿をそのままWEB公開しますので、原稿は必ず下記要領に従ってください。

なお、この要領に記載していない事項については、「溶接学会投稿規定及び執筆要領」に従ってください。

1. 原稿用紙

本会指定フォーマットのものに限ります。

1 ページ目は、題目、勤務先（研究場所）、氏名、英文タイトル、英文著者名、キーワードを記載してください。

2. 原稿の長さ

題目（和英両文）、勤務先、著者名（和英両文）、キーワード（和英両文）本文、図表及び写真を含めて、原稿用紙2枚にできるだけ余白を残さず書いてください。

字数は、40字×37行×2枚＝2,960字（タイトル等に約360字、本文は約2,600字）です。

3. 原稿の書き方

イ. 題目、勤務先、著者名、キーワード

原稿用紙1 ページ目の所定の場所にそれぞれのレイアウトを考えて書いてください。

題目はできるだけ簡潔に願います。

（副題をつけるときは溶接学会執筆要領に従い間違いのないように記載して下さい）

著者連名の場合は、講演をする著者名の頭に○印をつけてください。

英文タイトル及び著者名は、次の例のように書いてください。

Study on Plasma Welding

by Fuyuhiko Akiyama and Haruki Natsukawa

キーワードは次の例のように3～5ワード書いて下さい。

キーワード：アーク、凝固、割れ、疲労

Keywords: arc, plasma, physics

ロ. 本文

原稿用紙1 ページ目12 行目から書いてください。全体の字数が超過しなければ、行数、一行の字数の多少の変動はかまいません。

文字、図表は鮮明に書いてください。

レイアウトに際しては、概要集全体の体裁を考えて、行頭、端末の不揃いや枠のはみ出し・余白がないよう十分に注意してください。

文字の大きさは、大き過ぎあるいは小さ過ぎることのないようご注意願います。

ハ. 図表及び写真

図表及び写真は、関連する本文の近い場所に貼付してください。図表挿入の際はくれぐれも枠をはみ出さないようご注意願います。

図表及び写真には、Fig. 1, Table 1 などのように番号を付し、表題、説明（Caption）は英文で書いてください。（写真はPhotoでなくFig. としてください）

ニ. 会社、商品の宣伝（商品名の記載）につながる表記、表現はしないでください。

4. 校正

校正は（著者、編集者とも）いたしませんから、誤字、脱字のないよう原稿の時点で十分注意してください。

5. 原稿の提出

提出期間内にPDF（原稿）を学会ホームページよりアップロードしてください。原稿提出期限を過ぎますと画面が閉鎖されアップロードできなくなりますので充分ご注意ください。

〔原稿見本〕

12pt, 明朝体
プラズマ溶接の研究

10.5pt 日本工科大学 ○秋山 冬彦
世界電機 夏川 春樹

10.5pt
Study on Plasma Welding

10.5pt by Fuyuhiko Akiyama and Haruki Natsukawa

10.5pt キーワード：アーク、凝固、割れ、疲労 Keywords: arc, plasma, physics

本文（12行目から）→
本研究は、プラズマジェットを用いる溶接法について……
↑
1～2字アケル

Guide to Preparation of manuscript for the National Meeting

Manuscripts for the national meeting of JWS should be made with the manuscript papers designated by JWS.

Manuscripts are photographed without any proof-reading and published as "Preprint of the National Meeting of JWS".

1. Manuscript papers

The manuscript papers designated by JWS are available from JWS office.

The manuscript papers consist of two sheets, marked A and B, in A4 size. Letters and drawings on the sheets disappear in the printing operation.

2. Length of manuscripts

Title, authors names, affiliations, keywords, text, figures, tables, photographs, references etc should be written on the two sheets, more precisely within the outer frame drawing on the sheets.

3. Instruction for preparation

Manuscripts should be made clearly with a type writer or word processor with black ink.

Figures and tables should be clear even after the reduction for printing.

a) Title, names, affiliations

Title should be filled in the designated place of the sheet A.

Authors names and affiliations should be filled in the lines between 3 and 7 of the sheet A.

Title is recommended to be informative and brief. Authors names are full first names followed by the initial of middle and family names. Affiliation is the name of the organization author is working with. Speaker is identified with a circle in the front of name.

Keywords (3 ~ 5 words) should be noted

b) Text

Text begins at the line 12 of the sheet A. Letters should be larger than 10 point. Line space is single. Text shall be arranged within the outer frame drawing on the sheets. Trade names should not be used.

c) Tables and figures

Tables and figures should be typed directly or adhered to the sheets within the outer frame drawing on the sheets. Photograph is classified as a figure. Tables and figures have the consecutive numbers and captions. Quantity is given in SI units.

4. Proofreading

Proofreading is not given by the editor

— SAMPLE (reduced in size) —

12pt, 明朝体

PLASTIC CONSTRAINT EFFECT ON FRACTURE BEHAVIOR
OF A NOTCHED SPECIMEN WITH SIDE GROOVE
PART I: ANALYTICAL CONSIDERATIONS OF THE STRESS FIELDS

MOHAMED EI-Shenawy, Fumiyoshi Minami, Masao Toyoda 10.5pt

Department of Welding and Production Engineering
Osaka University, Japan

Kazusige Arimochi 10.5pt

Sumitomo Metal Industries, Japan

Keywords: fracture, toughness, plastic constraint 10.5pt

10.5pt

INTRODUCTION

10.5pt

Fracture mechanics approach is applied to evaluate the fracture strength of structure respect to the unstable cleavage fracture, plastic constraint is believed to be a major fact

resistance because stress fields are strongly dependent on the constraint condition toughness of the material is decreased with increasing the degree of plastic constraint.

全国大会講演プログラム校正について

— ホームページ上での校正のみとなります。 —

ホームページ上で平成30年度春季全国大会プログラムの校正刷りを公開しますので、ご確認のほどお願いいたします。

記

1. 校正開示

大会プログラムの版下が完成後、講演者宛にEメールにてご通知いたします。(校正刷りの郵送はいたしません。) 万一事故等によりEメールが未着の場合にも、3月下旬には開示いたしますのでご利用ください。

また、正式プログラム公開後の修正はいたしませんのでご留意ください。

2. 使用ソフト

アドビ社製アドビリーダー、バージョン4.0以上(ウィンドウズまたはマッキントッシュ対応)

無料ダウンロードアドレス

<http://www.adobe.co.jp/produks/acrobat/readstep.html>

また、現在アドビリーダーバージョン3.0の方は4.0にアップグレードしてください。

3. 開示場所 <http://www.jpp.co.jp/yosetu>

4. 校正方法

開示場所にて閲覧し、ダウンロードのあとプリントアウトしてください。該当箇所を校正のうえ溶接学会宛FAX(03-5825-4331)にて送信ください。

5. アドビリーダーの操作に関する問い合わせ先

日本印刷出版(株) クリエイトグループ

Tel: 06-6441-0075 E-mail: kobayasi@jpp.co.jp

平成30年度春季全国大会オーガナイズドセッションの募集

当学会では、全国大会プログラムにオーガナイズドセッションを設けています。オーガナイズドセッションは、オーガナイザーがテーマを定め、そのテーマに関連する一連の研究発表で構成されます。

オーガナイザーは、今話題のホットな溶接・接合研究を始め、溶接学会の枠を飛び越えて、溶接・接合の周辺技術や溶接・接合の未来を切り拓く新しい研究分野、研究プロジェクトの紹介など自由な発想に基づいてテーマ設定が可能です。なお、オーガナイズドセッション内での講演も、他の一般講演と同様に、1件あたり15分(発表:10分、討論:5分)となります。

下記のとおり、オーガナイザーとセッションテーマを募集いたしますので、奮ってご応募下さい。

開催期日:平成30年4月24日(火)～4月26日(木)

開催場所:東京ビッグサイト(東京都江東区)

— オーガナイザーとセッションテーマの募集 —

1. 応募期間:平成29年9月14日(木)～10月17日(火)
2. 応募資格:オーガナイザーは溶接学会員(会員)でなければなりません。セッション内の講演者はその限りではありませんが、できるだけ溶接学会員以外(非会員)の講演者を含め、多様な専門知識を有する研究者・技術者の交流の場となるように配慮下さい。
3. 応募方法:オーガナイザーは応募期間内に下記情報を電子メールにて事務局へ送信下さい。件名は「平成30年度春季全国大会オーガナイズドセッションの提案」として下さい。
応募情報:オーガナイザー名、セッションテーマ名、セッションの趣旨(200字程度)、予定する講演件数(総数、ならびに非会員からの予定講演件数を明記)

溶接学会事務局電子メールアドレス:jws-ym@kt.rim.or.jp

4. 採択結果の通知:応募情報に基づいて審議し、採択結果を10月31日(火)までにオーガナイザー宛に連絡いたします。なお、オーガナイズドセッションでの講演も一般講演と同様の方法にて登録いただきます。オーガナイザーはセッションにて講演いただく方に講演登録方法を通知するなどして、締切日までに登録を済ませるように配慮下さい。講演登録方法は「平成30年度春季全国大会『研究発表』講演募集」をご覧ください(平成30年度春季全国大会講演募集

の締め切りは12月13日(水)となっております)。

5. 登録料:オーガナイズドセッションの提案に対する課金はありませんが、講演1件当たり既定の講演登録料をお支払い下さい。なお、オーガナイズドセッションに限り、非会員の講演も認められます。
6. プログラム:オーガナイザーは、オーガナイズドセッションのプログラムを編成し、12月6日(水)までに事務局へご報告下さい。なお、オーガナイズドセッションへ登録いただいた講演題目は追ってオーガナイザーへ通知します。

— 実施方法 —

1. テーマ設定:オーガナイザーがテーマを設定し、上記の方法で応募して下さい。1つのオーガナイズドセッションあたり講演件数は4件以上を目安として下さい。
2. 発表時間:一般講演と同様、1つの講演あたり15分(発表10分、討論5分)です。
3. 講演登録方法:一般講演と同様、「平成30年度春季全国大会『研究発表』講演募集」に従って期日までに登録し、講演登録料をお支払い下さい。なお、登録時には研究分野・分類で「オーガナイズドセッション」を選択下さい。
4. プログラム編成:オーガナイズドセッションのプログラム編成(講演の順序、座長も含む)はオーガナイザーに一任します。編成したプログラムは12月6日(水)までに事務局へご報告下さい(厳守)。
5. 大会参加費:原則として、一般講演と同様の大会参加費をお支払い下さい。なお、非会員かつオーガナイザーからの依頼講演であれば特別に無料とさせていただきます。オーガナイザーからの依頼講演であっても会員は既定の大会参加費をお支払い下さい。

— お問い合わせ —

溶接学会事務局:松尾(担当)

〒101-0025

東京都千代田区神田佐久間町4丁目20番地

TEL:03-5825-4073 FAX:03-5825-4331

e-mail:jws-ym@kt.rim.or.jp

WEB掲載の溶接学会論文集35巻(平成29年度)の印刷物の購入について

溶接学会論文集は、平成19年1月より印刷物での発刊に代わってホームページ上にてWEB版として発刊されております。

印刷物にて一年分を纏めたものを購入される会員各位は、会員特価にて下記により、平成29年11月末日までにお申込み下さいますようお願いいたします。

なお、Special issue of Visual-JW 2016 の論文は含みません。

溶接学会論文集35巻(平成29年度)

価 格：溶接学会会員特価7,500円/年1冊(外税)

送 料：500円(外税)

発行時期：平成30年1月下旬頃

送 付 先：学会誌発送登録先

【申込先】

申込時に「会員番号」「お名前(会員名)」「冊数」「ご連絡先」をご明記の上、FAXにてお申込み下さい。折り返し、請求書をお送りいたします。

一般社団法人溶接学会 事務局 会員係 宛

F A X：03-5825-4331

申込締切：平成29年11月30日

入金締切：平成29年12月31日

尚、入金締切日までにご納入がない場合ご注文はキャンセルとさせていただきます。

上記以外でご購入を希望される方は、日本印刷出版株式会社(TEL 06-6441-0075 FAX 06-6443-5815)へ直接ご注文下さい。

定価 15,500円/冊 税込・送料別

会員以外の方の申込締切：平成30年3月31日

平成29年度秋季全国大会講演概要の頒布について

平成27年度春季全国大会より講演概要はデジタル化され、配布方法はホームページからのダウンロードのみとなり、従来のような大会前、大会当日の販売は廃止いたしました。

ただし、印刷版の全国大会講演概要は大会終了後、希望者へ別売にて提供させていただきます。

購入を希望される方は下記要領にてお申し込みくださいますようお願いいたします。

平成29年度秋季全国大会講演概要

価 格：12,000円(税・送料込)

発送時期：平成29年11月下旬頃

【申込方法】

「書籍名」「ご連絡先」「お名前」「冊数」をご明記の上、FAXにてお申し込みください。折り返し、請求書をお送りいたします。

一般社団法人溶接学会 全国大会運営委員会 宛

F A X：03-5825-4331

申込締切：平成29年9月29日(金)

入金締切：平成29年10月31日(火)

なお、入金締切日までにご納入がない場合ご注文はキャンセルとさせていただきます。

Express論文投稿の受付開始について

溶接学会では、溶接学会論文集への論文投稿について、完成度が高く、速やかな掲載が必要な論文に対してExpress投稿を受け付けることといたしました。Express投稿は、原稿受領通知書の著者への送付日から2週間以内に、査読結果を著者に通知するものです。

全国大会での優秀な発表に対してはExpress無料投稿券を発行

しています。また、所定の掲載料（通常投稿の約1.5倍）を納めることでもExpress投稿が可能です。

速やかな掲載を希望される方は是非ともご活用ください。

詳細は、投稿規定（<http://www.jweld.jp/kitei/toukou-kitei.html>）をご確認ください。

Welding Lettersの創刊について

溶接学会では、基礎・基盤分野、および開発・実用分野で価値があり、速報性が高いと認められた論文をWelding Lettersとして創刊することといたしました。

WEB発刊で、使用言語を英語に限定し、国際的にも価値の高いものとなるよう配慮されております。原稿の長さは、2～4ページとしており、溶接学会論文集に比べて、より速報性を求める

論文を投稿することができます。

本会告をもちまして、Welding Lettersへの投稿の受け付けを開始させていただきます。皆様からの積極的な投稿をお待ちしております。

詳細は、投稿規定（<http://www.jweld.jp/kitei/toukou-kitei.html>）をご確認ください。

国際溶接学会 (IIW) グランジョン賞の募集について

本年度もIIWグランジョン賞の募集を開始しましたので、ご案内いたします。

1. グランジョン賞の目的

溶接に対する若手研究者の関心を高めることを目的に、IIWでは若手研究者を対象としたグランジョン賞を制定しています。グランジョン賞は、IIW科学技術幹事H.Granjon氏（フランス）の功績を称えたもので、1992年に創設されました。

2. 募集内容

接合・サーフェッシング・切断に係る4つのカテゴリーから1つを選択し、そのカテゴリーに関連する論文（単独の著者）が対象となります。

Category A : Joining and Fabrication Technology

Category B : Materials Behaviour and Weldability

Category C : Design and Structural Integrity

Category D : Human Related Subjects

※日本からIIWへ応募できる件数は、カテゴリー毎に1件となっております

グランジョン賞の規定や執筆要綱など詳細に関しては、IIWホームページ内のグランジョン賞の規定をご確認ください。

3. 応募方法

作成した論文（和英どちらでも可）を、締切日までに下記のE-mailアドレスへ提出をお願いします。

【応募先（問い合わせ先）】

日本溶接会議（JIIW）事務局（日本溶接協会内）青木宛

Tel : 03-5823-6322

応募先メールアドレス : satoshi_aoki@jwes.or.jp

締切日 : 2017年9月30日

4. 応募から選考・審査・表彰までのスケジュール

2017年	9月30日	応募締切
	10月	JIIWで日本からIIWへ申請する論文を選考
	11月上旬	JIIWでの選考結果を通知 ※選考に通過した場合、著者にて論文を英語に翻訳していただきます
	11月下旬	JIIWが選考を通過した論文をIIWへ申請
2018年	2月	IIWでの審査結果を通知
	7月	IIW2018年次大会（インドネシア パリ）で表彰

大阪大学 接合科学研究所 教員公募

1. 公募人員：教授1名

(大阪大学は男女共同参画を推進しています。女性研究者の積極的な応募を期待します。)

2. 所 属：大阪大学接合科学研究所 接合プロセス研究部門 加工プロセス学分野

3. 専門分野：ものづくりにおける環境負荷低減と溶接・接合構造体のロバストネスに資する高能率・高効率な先進加工プロセス開発に関する基礎・応用研究を行うとともに、接合部の機械的・材料科学的特性の向上を基軸にした先進加工システムの最適化のための研究教育を行い、溶接・接合科学の進歩・発展に寄与できる方。

4. 応募資格：博士の学位または外国の Ph.D. を有する方

5. 着任時期：採用決定後、可能な限り早い時期

6. 任 期：期間の定めなし

7. 選考方法：書類審査（必要に応じて面接を実施）

8. 応募要領：

(1) 必要書類

- ・履歴書（写真貼付）
- ・研究業績目録（査読付原著論文、国際会議論文、著書、総説・解説、特許、その他に分類下さい）

原著論文がインパクトファクターを有する場合はインパクトファクターを、また被引用件数も併記して下さい。)

- ・主要論文別刷（5編以内、コピー可）
- ・これまでの研究業績の概要（A4用紙2ページ程度）
- ・着任後の研究教育活動の計画と抱負（A4用紙2ページ程度）
- ・科研費等外部資金獲得の状況（代表者あるいは分担者を明記）
- ・その他の特記事項（受賞、国内外での学会活動、社会活動、産学官連携など）
- ・2名の方からの推薦書（別送または別封）、または応募者について所見を伺える方2名の氏名と連絡先

(2) 応募締切日：平成29年9月29日（金）必着

(3) 応募書類の提出先

〒567-0047 大阪府茨木市美穂ヶ丘11-1

大阪大学接合科学研究所 庶務係長宛

Tel 06-6879-8677

(封筒に「大阪大学接合科学研究所 接合プロセス研究部門 加工プロセス学分野教員応募書類在中」と朱書し、簡易書留で郵送のこと、応募書類は原則として返却しません。)

9. 本件に関する問合せ先：

〒567-0047 大阪府茨木市美穂ヶ丘11-1

大阪大学接合科学研究所長 南二三吉

(Tel: 06-6879-8640, E-mail: minami@jwri.osaka-u.ac.jp)

接合科学研究所 HP: <http://www.jwri.osaka-u.ac.jp/index.jsp>

平成28・29年度編集委員

(委員長) 佐藤 嘉洋 (副委員長) 伊藤 和博

(委員) 青木 篤人, 池田 倫正, 石川 清康, 石崎 圭人, 井上 裕滋, 猪瀬幸太郎, 伊與田宗慶, 尾花 健, 河西 龍, 門田 圭二, 茅野 林造, 萱森 陽一, 桐原 聡秀, 柴原 正和, 銭谷 哲, 徳永 仁寿, 中谷 光良, 西川 宏, 藤田 善宏, 富士本博紀, 松田 広志, 三瓶 和久, 宮坂 史和, 森 裕章, 山本 元道

溶接学会誌 第86巻 第6号

平成29年9月1日 印刷

平成29年9月5日 発行

編集兼発行者 石丸 賢二
東京都千代田区神田佐久間町4丁目20番地

印刷者 日本印刷出版株式会社
大阪市福島区吉野1の2の7

発行所 一般社団法人 溶接学会

〒101-0025 東京都千代田区神田佐久間町4丁目20番地

電話 03(5825)4073

FAX 03(5825)4331

振替口座 00180-7-143434 番

ホームページ <http://jweld.jp/>